

シルク博物館平成24年度年報



シルク博物館

平成25年11月

シルク博物館平成24年度年報

目 次

1 ごあいさつ	3
2 建物の概要	4
3 平成24年度の主な出来事	4
4 事業	5
(1) 年間の事業概要	5
(2) 展示事業	5
ア 常設展示	5
イ 春の特別展 「美しい日本の絹 ユミカツラプライダルコレクション」	7
ウ 秋の特別展 「第22回全国染織作品展」	8
エ 企画展「親と子のかいこの自然科学教室」	9
オ 企画展「シルキークリスマス」	9
カ ミニ展示	11
(3) 講演会・講習会事業	11
ア くみひも実演と講習会	11
イ 手作り真綿の実演と講習会	11
ウ 夏休みシルク博物館特別講座	12
エ まゆ人形作り講習会(つるしびな)	12
オ つまみかんざし講習会	12
(4) 学習支援事業	13
ア 理科教育用蚕種配布事業	13
イ 「かいこの観察記録展示」(企画展「シルキークリスマス」において展示)	13
ウ 博物館実習生の受入れ	14
(5) 後援等事業	14
(6) テレビ・ラジオ・新聞等による取材報道	15
(7) 資料収集・活用事業	16
ア 収集資料	16
イ 所蔵資料などの貸出	17
ウ 資料の特別利用	19
(8) シンクタンク機能	19
(9) ボランティアによる博物館活動の支援	20
(10) 協力事業	21
5 資料	21
(1) 組織と職員	21
(2) 事業費	21
(3) 所蔵資料	22
(4) 入館者状況	22
(5) 過去の特別展・企画展一覧	23

1 ごあいさつ

シルク博物館は、シルクセンター国際貿易観光会館（シルクセンタービル）の中に開設され、今年で55年になります。

シルクセンタービルは、横浜開港100年記念事業として1959（昭和34）年3月、神奈川県・横浜市・関係業界のご理解・ご協力により貿易・観光の振興、とくに生糸および絹製品貿易の振興発展を図ることを目的として、開港当初英国商社ジャーディン・マセソン商会（英一番館）の跡地に建設されました。

シルク博物館はこのビルの2階と3階に展示室が設けられ、絹の科学・技術の理解や絹服飾・工芸美の鑑賞の場を提供することになりました。そしてこの間、絹に関する資料を積極的に収集するとともに、全国染織作品展はじめ多くの展示会や各種の講座・講習会を開催し、また年間を通して蚕の飼育展示を行うなど、世界でも数少ない絹専門の博物館として多くの方々に親しまれてきました。

一方で、近年は日本国内の養蚕農家も生糸の生産量も大きく減少してきており、絹の需要も限定的になりつつあります。しかし、こうしたきびしい状況の中にあっても、当館はこれからも設立の趣旨に則り、皆様に蚕の不思議、絹の魅力やすばらしさを発信し、ひいては絹の普及と需要増進を進めるため、たゆまぬ努力をしていこうと考えています。皆様方には、従来にも増してご支援・ご協力を賜るようお願いいたします。

2013（平成25）年11月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積（2階）	798.00㎡（241.39坪）	※受付前、ミュージアムショップを含む
（3階）	558.03㎡（168.80坪）	
イベントホール	212.72㎡（64.35坪）	
第一収蔵庫	21.76㎡（6.58坪）	
第二収蔵庫	46.24㎡（13.99坪）	
映写室	24.48㎡（7.41坪）	
準備室	62.62㎡（18.94坪）	
図書室	67.80㎡（20.51坪）	

改装	昭和44年（開館10周年記念）
	平成11年（開館40周年記念）
	平成24年（開館53周年記念）

【シルクセンター】

所在地	神奈川県横浜市中区山下町1番地
構造	地下2階、地上9階、塔屋2階
建築面積	2,970㎡(900坪)
延床面積	24,983㎡(7,570.85坪)
設計監理	坂倉準三建築研究所
施工	鹿島建設株式会社
経過	起工 昭和32年11月
	竣工 昭和33年11月（一部）、昭和34年3月12日（全館竣工）
	開館 昭和34年3月12日

3 平成24年度の主な出来事

- ・平成24年1月より休館して展示室の改修工事を行い、平成24年4月25日から開館した。
施工：株式会社丹青社
- ・平成24年4月25日にリニューアルオープンセレモニーを行った。
同時に博物館オリジナルキャラクター「まゆるん」を公開した。
- ・特別展を2回、企画展を2回開催した。
- ・講演会・講習会・実演を計49回開催した。
- ・『シルク博物館人間国宝作品集』を発行した。



「まゆるん」

4 事業

(1) 年間の事業概要

平成24年度は、魅力ある博物館づくりを展開することを基本とし、春・秋の特別展、シルキークリスマスなどを実施した。

平成24年1月から4月24日まで博物館のリニューアル工事を行い、リニューアル記念として春の特別展「美しい日本の絹 ユミカツラブライダルコレクション」を開催した。日本ブライダル界の第一人者、桂由美氏によるウェディングドレス等、シルクブライダルファッション67点を展示した。

秋の特別展としては、隔年で開催している公募展「第22回全国染織作品展」を開催した。絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、応募点数207点から専門家による審査のうえ入選作品82点を一堂に展観した。

夏休み期間中には、小・中学生の理科教育の学習支援となる企画展「親と子のかいこの自然科学教室」を行った。また8月25日、26日には東京農業大学の協力により「夏休みシルク博物館特別講座」を初めて開催した。

12月には東京農業大学および関東学院大学などの協力により、平成22年度より実施している企画展「シルキークリスマス」を開催し、特に若い人の興味を引く展示作りに努めた。また会場内では「理科教育用蚕種配布事業」のフォローアップとして、「かいこの観察記録展示」を行った。

常設展の中では実演やミニ展示を行い、変化に富んだ魅力ある展示に努めた。小・中学校で行われている総合的な学習の一環として、先生や子どもたちの来館時の指導に努め、また問合せ(電話、来館)にも対応し、実りある学習成果をあげられるよう職員全員で対応した。

博物館の広報については、関係報道機関等に働きかけると共に、みなとみらい線の車内広告、日本大通り駅の常設電光掲示板と特別展開催時のポスター掲示、チラシの配布、懸垂幕の設置などを行ったほか、ホームページを活用して最新情報の提供に努めた。また博物館のリニューアルに併せてリーフレット、ホームページの改訂も行ったほか、博物館オリジナルキャラクター「まゆるん」を新たに設定し、リニューアルオープンセレモニーではまゆるん命名者の表彰を行い、またクリアファイルや広報用ティッシュの製作など広報に活用した。

(2) 展示事業

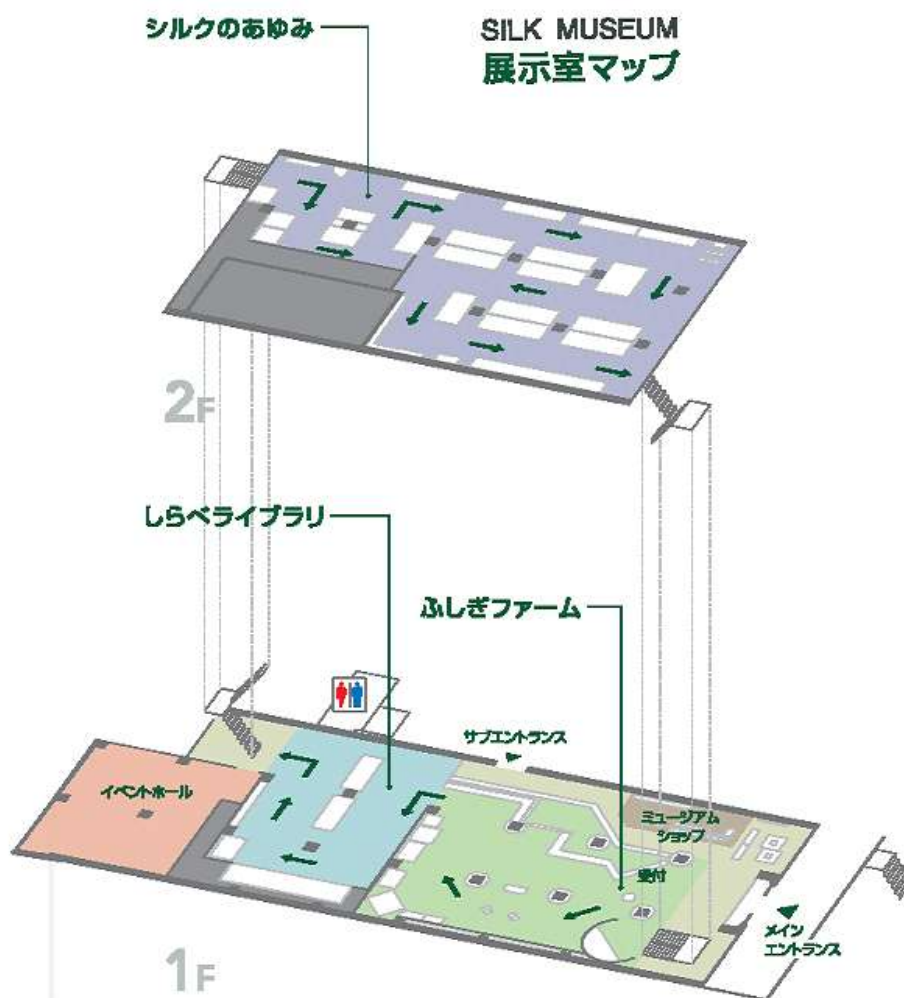
ア 常設展示

平成24年1月より改装のため休館していたが、4月25日(水)にリニューアルオープンした。博物館の2階、3階にわたる展示構成を見直し、来館者に分かりやすい構成、展示方法に整備した。また、講習会や体験学習に対応できる空間を確保したほか、未来志向の展示を加えた。展示照明器具には、省エネルギー化および資料の保護のためLEDを採用し、明るさを確保し効果的な照明の整備を行った。館内の色調についても見

直し、2階は床タイルや壁面などに桑の葉模様を配した楽しい空間、3階は来館者が展示品を落ち着いた雰囲気で見賞できるように黒を基調とした。

また、年間を通して蚕の飼育展示、衣食住にかかわる絹製品、絹の和洋装品などができる過程や蚕糸業の歴史、アジアを中心とした世界の民族衣装、日本の復元時代風俗衣装人形、時代衣装、掛袱紗、蚕織錦絵などさまざまなシルクに関する展示を行った。

◇リニューアル後のフロアマップ



◇リニューアル時 新規展示協力資料

	名 称	数	協力先
資料	「ありあけ」繭、生糸	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	「セリシンホープ」繭	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	「はくぎん」繭、生糸	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	角膜再生材料(セリシingleフィルム、ホーネットシルクフィルム)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	蛍光繭、蛍光生糸(緑、赤、オレンジ)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	抗血液凝固物質 パウダー(硫酸化フィブロイン)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	手術用縫合糸(3種類)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	神経再生用材料(シルクスポンジ、シルクチューブ)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	軟骨再生用材料(シルクスポンジ)	1	独立行政法人農業生物資源研究所
資料	シルクフィル	1	丸三綿業株式会社
展示	宇宙農業	1	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
展示	純国産絹マーク	1	社団法人日本絹業協会
展示	繊維の電子顕微鏡写真(16種)	1	日本化学繊維協会
展示	ニューシルク	1	東京農業大学 昆虫機能開発研究室

※購入および寄贈資料は(7)資料収集・活用事業に掲載

◇4月25日(日) リニューアルオープンセレモニー (参加者45人)

イ 春の特別展 「美しい日本の絹 ユミカツラブライダルコレクション」

内容 日本ブライダル界の第一人者桂由美氏による、日本の美しいシルク生地を使ったウェディングドレス、イブニングドレスなど格調高く夢あふれるシルクブライダルファッション67点を展示紹介した。

また、桂由美氏によるトークショーも開催した。

展示 ウェディングドレス、イブニングドレス、ニューキモノ 小物類 67点

講演等 ・テープカット 4月25日(水) (参加者40人)
 ・桂由美氏トークショー 4月25日(水) (参加者50人)
 4月29日(日) (参加者98人)

会期 平成24年4月25日(水)～6月10日(日) (開催期間41日間)

後援 神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/tvk/社団法人日本絹業協会/
 横浜繊維振興会/横浜織物商組合

協力 桂由美/株式会社ユミカツラインターナショナル/
 株式会社アルファブランカ/西善商事株式会社/株式会社関芳/
 株式会社ローザ/株式会社コロネット

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	1,171	313	425	564	226	156	396	944	2,800	6,995
外国人	46	10	3	4	0	0	40	35	5	143
計	1,217	323	428	568	226	156	436	979	2,805	7,138

※招待券、優待券など無料入館者

ウ 秋の特別展 「第22回全国染織作品展」

内容 絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、専門家による審査のうえ、その入選作品を一堂に展覧して、次代を担う新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要促進に寄与することを目的に開催した。

展示 全国公募による入選作品 82点

講演等 10月17日（水）ねん糸についてのレクチャーおよびワークショップ
（講師：下村ねん糸 下村輝氏）

会期 平成24年10月13日（土）～11月25日（日）（開催期間38日間）

後援 神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/tvk/NHK横浜放送局/
一般財団法人織貿会館/社団法人日本絹業協会/一般財団法人日本真綿協会/
社団法人全日本きもの振興会/東京織物卸商業組合/横浜繊維振興会

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	553	806	74	198	110	123	98	144	1,821	3,927
外国人	121	23	2	6	0	0	22	39	13	226
計	674	829	76	204	110	123	120	183	1,834	4,153

※招待券、優待券など無料入館者

公募作品の応募並びに入選点数

	訪問着 ・着物	着尺	帯	壁かけ・額・ ハンドバッグ類	合計
応募	94	16	41	56	207
入選	43	8	11	20	82

エ 企画展「親と子のかいこの自然科学教室」

- 会期 平成24年7月24日（火）～8月12日（日）（開催期間18日間）
- 内容 理科教育や小・中学校の総合的な学習の一助となることを目的に開催した。県内及び近都県の小学生等を対象に、親子で蚕の生態観察・糸繰り・はた織りなどを楽しみながら体験し、蚕や絹についての知識を深めていただいた。
- 展示 ◇こども向けまゆクラフト展示
◇珍しい蚕品種の飼育観察
◇天蚕の飼育と繭の展示
◇蛾の標本展示
◇展翅したカイコガの成虫、チョウ・セミ等の展示
- 体験 ◇はた織りの体験
◇糸繰り・繭人形作り体験(毎週水・木・金曜日)
◇小さな真綿作り(毎週火・日曜日)
- 講演等 ◇蚕の飼い方・観察の仕方（毎週土曜日）
◇映画「かいこ」の上映会(毎週土曜日)
- 後援 神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/神奈川新聞社/tvk/NHK横浜放送局

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	658	51	39	516	103	34	1	44	584	2,030
外国人	36	1	6	0	0	0	0	0	2	45
計	694	52	45	516	103	34	1	44	586	2,075

※招待券、優待券など無料入館者

オ 企画展「シルキークリスマス」

- 内容 若い世代の方々にシルクとシルク博物館について知っていただくための展示とイベントを行った。本年度は3回目となり、昨年度に引き続いて東京農業大学および関東学院大学より協力をいただいた。また本年度はNPOアジアの女性とこどもネットワークにも展示協力をいただいた。
- 展示 ◇シルクで彩るクリスマスツリー
◇かいこの観察記録展示
◇ニューシルクロードプロジェクト（東京農業大学）
◇シルクで彩るクリスマスデコレーション（関東学院大学）
◇横浜スカーフ時代と大衆観光時代（関東学院大学）
◇タイにおけるかいこプロジェクト（NPOアジアの女性と子どもネットワーク）

◇無料入館の実施〔12月22日（土）〕（入館者388人）

◇体験、講習会等

行事名	実施日	回数	講師	参加者
かいこの観察ワークショップ	平成24年12月8日(土)	1回	当館職員	9人
まゆ人形作り (サンタ、トナカイ、まゆリース)	平成24年12月8日(土)、22日(日)	2回	当館職員	51人
指編みとまゆ人形で飾る リース講習会	平成24年12月9日(日)、15日(土)	2回	編物作家 七字良枝	2人
きもの試着体験	平成24年12月23日(日)、24日(月)	2回	当館職員	0人

◇クリスマスコンサート等

行事名	実施日	回数	公演者等	参加者
クリスマスコンサート	平成24年12月16日(日)	1回	フェリス女学院大学	42人
クラシック・ヨコハマ2012 ミュージアムコンサート in シルク博物館	平成24年12月16日(日)	1回	ヨコハマ市民広間演奏会	42人
シルキークリスマス メインイベント	平成24年12月22日(土)	1回	ヨコハマ少年少女合唱団ほか (詳細は別途)	388人

◇12月22日(土)シルキークリスマスメインイベント

- ・コンサート 横浜少年少女合唱団
- ・クリスマスのお話 名誉館長 マリ・クリスティーン
- ・シルクマジック シルクセンター施設課 山賀久男
- ・横浜スカーフと大衆観光時代 関東学院大学人間環境デザイン学科教授山崎稔恵氏
- ・知って得するシルクの話 東京農業大学昆虫機能開発研究室教授長島孝行氏
- ・コンサート 横浜市民広間演奏会

会期 平成24年12月4日(火)～12月24日(月・祝) (開催期間19日間)

協力 一般財団法人日本真綿協会/横浜繊維振興会/東京農業大学/
関東学院大学総合研究推進機構/関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科/
NPOアジアの女性と子どもネットワーク

入館者数(人)

	個人			団体			無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	一般	シニア	高・大		
日本人	201	69	16	15	7	0	1,331	1,639
外国人	15	2	2	0	0	0	5	24
計	216	71	18	15	7	0	1,336	1,663

※小中学生(期間中無料のため)、招待券、優待券など無料入館者
内訳)「かいこの観察記録展示会」出品者用招待券 147名
小・中学生 234名 未就学児 121名 そのほか 834名

カ ミニ展示

・「田島^{ひろし}比呂子作品」

内容 友禅の重要無形文化財保持者である田島比呂子氏より寄贈・寄託された作品の中から、訪問着等を展示紹介した(平成23年度より制作年代順に展示)。

会期 平成24年6月19日(火)～7月16日(月) [Part4]

9月8日(土)～10月5日(金) [Part5]

・「つまみかんざし」

内容 薄い絹布で職人の巧みな手技により作られた、小さく可愛らしいつまみかんざしを「つまみかんざし講習会」開催に合わせて展示公開する。

会期 平成25年3月2日(土)～3月24日(日)

展示協力 つまみかんざし博物館

(3) 講演会・講習会事業

ア くみひも実演と講習会

内容 くみひもは、鎧や刀の装飾、帯締めなどに使われてきたが、現在は生活の中の装飾品などとして更に広く利用されている。丸台を使った実演と帯締めを作る講習会を実施した。

またクテ打組紐(ループ組紐)の講習会は、本年度初めて実施した(クテ打組紐の実演は昨年度初めて開催)。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
くみひも実演	24年4月28日(土)～ 25年3月9日(土)	18回	元神奈川県蚕糸検査場技師 溝呂木基子	
くみひも講習会	24年7月7日(土)、14日(土) 25年2月9日(土)、10日(日) 3月23日(土)、24日(日)	3回 (2日間で 1講習会)	元神奈川県蚕糸検査場技師 溝呂木基子	17人
クテ打組紐講習会	24年6月30日(土)	1回	クテ打組紐講師 角浦節子	6人

イ 手作り真綿の実演と講習会

内容 真綿作りの貴重な技術を次の世代に伝えるため、「手作り真綿の講習会」、「こどものための小さな真綿作り」、「真綿からの太糸作り実演と講習会」、「真綿の太糸指編み実演」および「手紬糸作り実演と講習会」を開催した。

講師 難波ハマ氏(元神奈川県蚕糸検査場技師)

七字良枝氏(編み物作家)

田村恭子氏(手紬糸伝統工芸士)

後援 一般財団法人日本真綿協会

行事名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の講習会	24年6月26日(火)、27日(水)、 25年1月23日(水)、24日(木)、 25日(金)	5回	元神奈川県蚕糸検査場技師 難波ハマ	19人
こどものための小さな真綿作り	24年7月24日(火)、29日(日)、 31日(火)、8月5日(日)、 7日(火)、12日(日)	6回	元神奈川県蚕糸検査場技師 難波ハマ	173人 ※
真綿からの太糸作り実演	24年5月19日(土)、20日(日)	2回	元神奈川県蚕糸検査場技師 難波ハマ	/
真綿からの太糸作り講習会	24年5月26日(土)、27日(日)	2回	元神奈川県蚕糸検査場技師 難波ハマ	11人
真綿の太糸指編み実演	24年7月8日(日)、 12月9日(日)、15日(土)	3回	編物作家 七字 良枝	/
手袖糸作り実演	24年5月6日(日)	1回	伝統工芸士 田村 恭子	/
手袖糸作り講習会	24年7月15日(日)、16日(月)、 10月14日(日)、20日(土)	4回	伝統工芸士 田村 恭子	23人

※開催日の小中学生入館者数

ウ 夏休みシルク博物館特別講座

実施日 平成24年8月25日(土)、26日(日) 計2回 参加者 計47人
 講座 「昆虫のふしぎな世界」(講師:博物館部長 高桑正敏)
 「ふしぎ体験講座」(講師:東京農業大学長島研究室)

エ まゆ人形作り講習会(つるしびな)

実施日 平成25年2月11日(月・祝) 計1回 受講者 計3人
 講師 博物館職員

オ つまみかんざし講習会

実施日 平成25年3月10日(日) 計1回 受講者 計13人
 内容 薄い小さな絹布をピンセットで折り込み、花びらなどを作り出し、七五三やお正月の着物姿の髪飾りなどに使われる「つまみ細工」の作り方を指導する。
 講師 石田毅司氏・石田貴志氏(つまみかんざし博物館)

(4) 学習支援事業

ア 理科教育用蚕種配布事業

内容 「かいこ」の飼育及び観察を通して学校などの理科教育や総合的な学習支援などのため県内及び近都県の小学校・幼稚園等に蚕種を配布した。

配布日 平成24年5月11日(金)・12日(土)ほか適宜

配布先 小学校365校、幼稚園・保育園154園、その他52件 合計571件

配布数 蚕種約26万粒(13箱分)

説明会 「蚕の飼い方・観察の仕方」

5月11日(金)参加者45名、12日(土)参加者146名

24年度蚕種配布先(件数)

	小学校	幼稚園 保育園	高校 特別学校	団体	個人	計
横浜市内	148	127	1	2	21	299
神奈川県内	176	23	1	3	9	212
東京都内	40	0	4	2	4	50
そのほか	1	4	1	0	4	10
計	365	154	7	7	38	571

イ 「かいこの観察記録展示」(企画展「シルキークリスマス」において展示)

内容 蚕種配布事業により多くの小学校などで蚕の飼育観察が行われ、子どもたちの感性豊かな観察記録作品が制作されている。この子どもたちの作品を一室に展示し、学校相互の情報交換の場をつくり、総合的な学習を支援することを目的として実施した。

会期 平成24年12月4日(火)～24日(月)

展示点数 16件、548点

出品者

	地域	学校名	作品の種類	点数
横浜市	磯子区	つくしんぼ保育園	クリスマスリース	1点
	金沢区	こすもす幼稚園	画用紙絵	100点
	港南区	森が丘幼稚園	まゆ人形、コサージュ、絵	160点
		横浜市上永谷東保育園	冊子「かいこノート」	18冊
	港北区	日吉台光幼稚園	画用紙絵、ノート	29点
	都筑区	横浜市中川西保育園	模造紙	1枚
	鶴見区	鶴見乳幼児福祉センター保育園	まゆ人形、コサージュ	10点
中区	おりーぶえん	工作「うさぎとねずみとドンダリのトーキングワールド」	1点	

横浜市	西区	市立稲荷台小学校	冊子「かもめのアルバム」	1冊
	保土ヶ谷区	市立川島小学校	絵日記「かいこの観察記録日記」	24枚
	緑区	市立十日市場小学校	絵日記「カイコを育てて」	120枚
	南区	横浜市三春台保育園	コサージュ(卒園のプレゼント)	2点
神奈川県愛川町		町立中津第二小学校	まゆ人形	10点
千葉県松戸市		市立小金北保育所	模造紙絵、あそびグッズ	4点

ウ 博物館実習生の受入れ

- 実習内容
- ・オリエンテーション（シルク博物館の展示運営と取組み）
 - ・普及活動実習（「親と子のかいこの自然科学教室」での来館者へのかいこの飼育観察や体験学習の指導、蚕の飼育）

受入校 8大学10人

実習期間	大学名	学年	人数
7月24日(火)～8月7日(火)	昭和音楽大学	4年	1名
	専修大学	3年	1名
	多摩美術大学	4年	1名
8月7日(火)～8月21日(火)	関東学院大学	4年	2名
	共立女子大学	4年	2名
	聖心女子大学	4年	1名
	東洋英和女学院大学	4年	1名
	日本大学	4年	1名

(5) 後援等事業

	事業名	主催	会期	内容
協力	「第8回試作竹箴と織布展」	日本竹箴技術保存研究会	24年11月13日(火)～18日(日)	竹箴の技術伝承、保存活動を行っている研究会による竹箴の試作、試織作品の展示
後援	「第18回真綿のヴィジュアル・アート」	一般財団法人日本真綿協会	24年12月12日(水)～17日(月)	真綿を素材とした公募作品によるアート展
	「第7回真綿を使った小物作り」	一般財団法人日本真綿協会	25年1月20日(日)〆切	真綿を素材とした小物作品の公募
	2012年「横浜ファッションウィーク」	横浜ファッションウィーク実行委員会	24年4月28日(土)～5月6日(日)	横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展と横浜の地場産品「横浜スカーフ」の復興事業

(6) テレビ・ラジオ・新聞等による取材報道

	主な取材内容	放映・掲載日	放送局・新聞社	番組名等
テレビ	春特別展	5月24日(木)	tvk	「ありがとっ!」
	当館紹介	6月 8日(木)	tvk	「ありがとっ!」
	横浜スカーフ	11月19日(月)	NHK BSプレミアム	『恋する雑貨』
	清水製糸工場など	2月24日(日)	NHK	「みんなDE笑顔プロジェクト」
ラジオ	当館紹介	10月18日(木)	FMヨコハマ	「Tresen+」
	当館紹介	11月23日(金)	FMヨコハマ	「Aia Aia Friday」
新聞	春特別展 「美しい日本の絹 ユミカツラブライダルコレクション」	4月6日(金)	毎日新聞	
		4月13日(金) ～6月8日(金)	神奈川新聞	バザール(毎週金曜日)
		4月18日(水)	朝日新聞	夕刊 be evening アート
		4月25日(水)	染織文庫	
		4月26日(木)	神奈川新聞 読売新聞	
		5月3日(木)	神奈川新聞	ヨコハマ@通信
		5月8日(火)	毎日新聞	かながわ遊ナビ
		5月24日(木)	東方新報	日語専版
	6月15日(金)	日中新聞	人民日報 海外版	
	企画展「親と子のかいこの自然 科学教室」	8月4日(土)	読売新聞	
		8月5日(日)	朝日新聞	
	特別展 「第22回全国染織作品展」	10月10日(水)	染織文庫	
		10月13日(土)	神奈川新聞	
	企画展「シルキークリスマス」	11月25日(日)	染織文庫	
		12月14日(金)	神奈川新聞	バザール
	手作り真綿の講習会	1月25日(金)	読売新聞	
	事業以外	「横浜の100幼稚園で飼育」	6月28日(木)	神奈川新聞
「糸」(天蚕)		7月1日(日)	読売新聞	はま風
「横浜スカーフ」		8月15日(水)	産経新聞	絢爛たる伝統技 神奈川の匠2
「黄八丈」		10月8日(月)	神奈川新聞	

◇旅行冊子、地域情報紙等

ヨコハマ・アートナビ、ぱど、OPEN YOKOHAMA2012、広報よこはま、松本平タウン情報、リビング新聞、『横浜ウォーカー』等

(7) 資料収集・活用事業

ア 収集資料 62点

(ア) 購入 35点

	資料名	点数	購入先
資料	hengen・mayu カプセルスカーフ	1	株式会社甲斐絹座
	玉虫甲斐絹傘	1	株式会社甲斐絹座
	シルクテープストール	2	加賀グンゼ株式会社
	ナチュラルシルクソープ	3	サンシャインカンパニー
	kibisoストール きびそ窓(青)	1	鶴岡シルク株式会社
	ウェハーバッグ 生絹縞(青)	1	鶴岡シルク株式会社
	帽子 生絹縞(青)	1	鶴岡シルク株式会社
	ショール(ムガサン)	1	東京農業大学昆虫機能開発研究室
	日傘(タサール・ムガサン)	1	東京農業大学昆虫機能開発研究室
	日傘(ムガサン)	1	東京農業大学昆虫機能開発研究室
	マフラー(エリサン)	2	東京農業大学昆虫機能開発研究室
	シルクオーガンジーシュシュ	3	富岡シルクブランド協議会
	雪繭 口内ブラシ	1	富岡シルクブランド協議会
	かりゆしウェア(全織半袖)	1	那覇伝統織物事業協同組合
	ナノフィブロインパウダー	1	松田養蚕場
	天蚕紬ハンドバッグ	1	りょうぜん天蚕の会
図書	『美しいキモノ 2012年夏号(240号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2012年秋号(241号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2012年冬号(242号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2013年春号(243号)』	1	タミヤ書店
	『日本史色彩事典』	1	タミヤ書店
	『富岡市の文化財』	1	富岡製糸場ミュージアムショップ
	『富岡製糸場事典』	1	富岡製糸場ミュージアムショップ
	みやま文庫 『富岡製糸場の歴史と文化』	1	富岡製糸場ミュージアムショップ
	『日本国の養蚕に関するイギリス公使官アダムズによる報告書』	1	富岡製糸場ミュージアムショップ
	『平成23年度富岡製糸場総合研究センター報告書』	1	富岡製糸場ミュージアムショップ
DVD	「日本の染と織」(6枚組、23タイトル)	1	株式会社三越伊勢丹
	「羅 北村武資のわざ」	1	株式会社日経映像
	「宮古上布」	1	株式会社日経映像

(イ) 寄贈 27点

	資料名	点数	寄贈者
資料	エイジレス6点セット 6200(シルク成分入り化粧品)	3	エイスピーエイチ美容研究所株式会社
	エリナチュレ タオル(野蚕糸混紡)	1	シキボウ株式会社
	玉小石牛首紬(端切れ)	1	大門屋
	綾竹台 鎌倉組(製組途中)	1	道明美保子氏、市来義子氏
	Tomiooka Silk ネクタイ(レンガモチーフ)	1	富岡シルクブランド協議会
	シルク製人工血管	1	朝倉哲郎(東京農工大学)
	「プラチナボーイ」繭	1	蚕業技術研究所
	生地 世界一薄いシルク	1	桂由美
	「プラチナボーイ」生糸	1	株式会社銀座もとじ
	「プラチナボーイ」白生地	1	株式会社銀座もとじ
	大正2年勸業共進会 銀賞メダル	1	堤正義
	シルク入り乾麺	1	鶴岡シルク株式会社
	横浜赤レンガ倉庫 百年瓦	2	横浜市港湾局
図書	『糸組みのみち クフクフに惹かれて』	1	鈴木美登里
	『富岡製糸場解説マニュアル』	1	富岡市
	『富岡のまち～まちのおこり400年』	1	富岡市
	『伝統工芸ってなに? -見る・知る・楽しむガイドブック』	1	日本工芸会東日本支部
	『山下了是 退任記念 染色作品展 報-TANN-』	1	山下了是氏
	『染色堅牢度試験一覧表』	3	横浜繊維振興会
	『横浜捺染 -120年のあゆみ』	3	横浜繊維振興会

イ 所蔵資料などの貸出 42点

貸出先	点数	使用目的	会期	貸出資料
神奈川県立歴史博物館	12	「ヨコハマ・ヨコスカストーリー 一二つの港町の戦後文化」	24年4月21日 ～6月17日	スカーフ カラー格子文様(オキュパイドジャパン)
				スカーフ 角格子文様(オキュパイドジャパン)
				スカーフ ハワイアンフラワー(オキュパイドジャパン)
				スカーフ 五重塔と富士山(スーベニア用)
				スカーフ 富士山と城(スーベニア用)
				マネキン(7軀)
横浜市立金沢動物園ののほな館	2	「金沢動物園 大昆虫博2012」	24年7月14日 ～8月31日	蚕種(50粒)
				天蚕卵(3粒)
昭和村教育委員会からむし工芸博物館(福島県)	11	企画展「そのふくなにでてくるの」	24年7月14日 ～9月4日	蚕卵紙
				家蚕繭(200粒)
				写真 カイコガ(幼虫)

昭和村教育委員会 からむし工芸博 物館(福島県)				写真 カイコガ(成虫)
				写真 クワコ(幼虫)
				写真 クワコ(成虫)
				写真 条桑育
				写真 回転蒺
				写真 自動繰糸機
				写真 自動織機
				写真 常設展示「これって何粒？」
岐阜県博物館	3	「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展」	24年9月21日 ～11月4日	着物 「藍丸文」紬地緋 (昭和59年) 宗廣力三 作
				着物 堰出し友禅染紬「水」(昭和38年) 山田 貢 作
				着物 「さえずり」紬地堰出し友禅染 (昭和53年) 山田 貢 作
文化庁 (会場: 徳島県立博物館)	7	『「日本のわざと美」展 ～重要無形文化財と それを支える人々～』	24年10月20日 ～11月25日	生地 藍地唐花文羅 (昭和38年) 喜多川平朗 作
				袴地 「松濤」精好仙台平 (昭和36年) 甲田栄佑 作
				帯 七献立献上博多織 (昭和46年) 小川善三郎 作
				訪問着 「花」縮緬地 藤纈友禅染 (昭和36年) 木村雨山 作
				留袖 「雲文」縮緬地 友禅染 緋 (昭和37年) 中村勝馬 作
				伊勢型紙 突彫「御所伽」南部芳松作
				伊勢型紙 道具彫「三筋亀甲菱菊」 中村勇二郎作
横浜みなと博物館	7	「横浜港観光名所紹 介展」	25年2月16日 ～4月7日	ハンカチーフ「花と葉」(大正末期)
				ハンカチーフ「日の丸と桜」(大正末期)
				スカーフ「モダン抽象」(昭和4～5年)
				スカーフ「モダン縞ボーダー」(昭和4～5年)
				写真 「アイベリア号 歓迎ショー」 (昭和35年11月11日)
				写真 「チューサン号 歓迎ショー」 (昭和36年1月18日)
				写真 「チューサン号 の乗船客と記念撮影」 (昭和36年1月18日)

ウ 資料の特別利用 29点

申込・掲載者	利用資料(撮影、掲載)	点数	掲載誌等
λプロダクション	常設展示風景	1件	学研パブリッシング『インドのひみつ』制作の参考のため
株式会社近衛ロンド	家蚕繭 未熟蚕	2点	『週刊絵巻で楽しむ源氏物語五十四帖』
株式会社アート・エフ	復元日本時代風俗 平安時代 「公家の正装 女子唐衣装姿 (十二単)」	1点	兵庫県版 入試模擬6回
株式会社アズマックス	シルクスカーフ	1件	NHK BSプレミアム「恋する雑貨」
長野朝日放送	束装生糸 猪口造り	1点	テレビ番組制作
小泉勝夫	アンペラ梱包	1点	『開港とシルク貿易』
	束装生糸 近江達磨糸	1点	
	束装生糸 改良造り(鐘桜式)	1点	
	束装生糸 掛田折返し糸	1点	
	束装生糸 三丹州糸	1点	
	束装生糸 羽前鉄砲糸	1点	
	束装生糸 美濃曾代糸	1点	
	錦絵 「東京築地舶来ぜんまい 大仕掛けきぬ糸取る図」	1点	
	椎野正兵衛	1点	
	手巾 紙型捺染「日の丸に桜」	1点	
	スカーフ版木	1点	
	蠟防染スカーフ	1点	
	スクリーン捺染スカーフ	1点	
	輸出用生糸船積み	1点	
	初期横浜生糸検査所	1点	
旧横浜生糸検査所検査風景	1点		
微粒子病検査	1点		

(8) シンクタンク機能

高桑正敏

種別	内容	掲載・開催日	詳細	協力先等
執筆	シルクレポート2012年 7月号 No. 25	24年7月1日	リニューアルオ ープンについて	財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
講師	シルク博物館特別講座	24年8月27日	昆虫のふしぎな 世界	シルク博物館

大野美也子

種別	内容	掲載・開催日	詳細	協力先等
執筆	神奈川郷土史展望	24年6月27日	蚕種配布事業について	神奈川新聞
	『シルク博物館人間国宝作品集』	25年3月31日発行	解説	シルク博物館
外部 委員	工芸技術記録映画製作 委員	24年度	平成23年度無形文化 財「わざ」の理解促進 事業	文化庁文化財部伝 統文化課
	無形文化財工芸技術資 料の評価員	24年度	無形文化財工芸技術 資料の評価にあたって	文化庁文化財部 伝統文化課
	横浜スカーフ研究会調 査部会員	24年度		横浜市経済局 中小企業振興部

石鍋由美子

種別	内容	掲載・開催日	詳細	協力先等
執筆	絹だより 第223号	24年10月1日	リニューアルオープン、 春特別展について	社団法人日本絹業協会・ ジャパンシルクセンター
講師	鶴見大学文化財学会 秋季シンポジウム	24年11月10日	「蚕種配布と学校利用 ～シルク博物館の活動から」	鶴見大学
外部 委員	横浜スカーフ研究会 調査部会員	24年度		横浜市経済局 中小企業振興部

◇レファレンス活動

- ・報道機関からの問合せ(テレビ東京、長野朝日放送、信濃毎日新聞社等) 5件
- ・蚕を飼育する学校、個人からの問合せ 55件
- ・神奈川県立保土ヶ谷高等学校生徒 アナウンス原稿作成協力 1件
- ・相模原市立清新小学校生徒 電話インタビュー(質疑応答) 1件

(9) ボランティアによる博物館活動の支援

ボランティア4名により交替で、毎週土曜日に学習コーナーにおいて手織機の指導、ふろしきの包み方の実演指導、学習コーナー図書利用の指導、展示案内などの協力を得ている。希望により「きもの試着」を行っている。

(10) 協力事業

事業名	主催	期間	協力内容	参加人数
第10回バレエコンクール IN横浜	公益財団法人 日本バレエ協会	24年5月2日(水) ～5日(土)	オリジナル船スカーフ 3枚 春特別展招待葉書30枚	約770人
児童福祉週間	厚生労働省	24年5月5日(土) ～11日(金)	小中学生 入館料無料	96人
開港記念日	横浜市	24年6月2日(土)	小学生～大学生 入館料無料	26人
第4回かながわ子ども・ 子育て支援月間	神奈川県	24年8月4日(土) 11日(土)、18日(土) 25日(土)	小中学生 入館料無料	86人
ミュージアム・クイズラリー	神奈川県立歴史 博物館	7月20日(金)～ 8月31日(金)	クイズノート持参者 団体割引	126人
JATA旅博2012～新た なたび文化の創造へ～	一般社団法人 日本旅行業協会	9月21日(金)～ 23日(日)	招待券10枚	来場者 約11万人
2012年NU祭 第20回 桜麗祭 ビンゴ大会	日本大学文理学部	11月2日(金)～ 4日(日)	招待券60枚	約450人

5 資料

(1) 組織と職員

博物館部長(館長)(1) 博物館次長兼課長(副館長)(1)

課長補佐(1) 事務職員(1) 非常勤職員(1) アルバイト(4)

(2) 事業費

費目	内容	支出
博物館事業費		21,000,524
内訳)		
普及事業費支出	常設展示費支出・特別展開催支出等	15,363,004
資料整備費支出	資料補修費支出・図書資料等収集費支出	743,228
博物館資料購入費支出	全国染織作品展 シルク博物館大賞・館賞受賞作品購入	1,700,000
広報事業費支出		2,324,382
運営管理費支出	運営委員会開催費	869,910

(3) 所蔵資料

	24年度収集		前年度までの 収集(寄贈含む)	計
	購入	寄贈		
資料	22	16	3,960	3,998
写真・ビデオなど	3	0	591	594
図書	10	11	6,315	6,336
計	35	27	10,866	10,928

(4) 入館者状況

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中	その他	
4月	195	51	74	15	20	29	1	0	388	773
【6日】※	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)
5月	672	182	231	417	180	83	214	528	1,693	4,200
【26日】	(25)	(8)	(3)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(40)
6月	472	109	137	204	50	62	264	1,519	1,007	3,824
【20日】	(43)	(5)	(3)	(3)	(0)	(0)	(40)	(35)	(3)	(132)
7月	567	57	36	308	99	16	2	144	559	1,788
【26日】	(36)	(1)	(11)	(9)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(61)
8月	812	107	77	482	165	49	2	67	940	2,701
【27日】	(55)	(27)	(6)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(20)	(111)
9月	233	65	60	142	87	51	82	250	393	1,363
【22日】	(45)	(12)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)	(72)
10月	277	715	26	45	61	28	0	177	690	2,019
【20日】	(60)	(61)	(1)	(5)	(0)	(0)	(0)	(84)	(24)	(235)
11月	431	167	62	160	71	97	120	71	1,230	2,409
【22日】	(75)	(10)	(1)	(1)	(0)	(0)	(22)	(0)	(1)	(110)
12月	239	78	23	2	16	8	0	0	1,374	1,740
【21日】	(21)	(2)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(31)
1月	194	59	18	248	4	12	0	143	347	1,025
【23日】	(22)	(10)	(5)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)	(48)
2月	250	79	26	101	32	17	27	188	473	1,193
【24日】	(37)	(3)	(3)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(7)	(52)
3月	337	127	36	79	52	62	0	0	545	1,238
【27日】	(76)	(12)	(3)	(7)	(17)	(0)	(0)	(0)	(12)	(127)
計	4,679	1,796	806	2,203	837	514	712	3,087	9,639	24,273
	(499)	(151)	(43)	(32)	(19)	(0)	(62)	(119)	(98)	(1,023)

※リニューアルオープン 4月25日

【 】開館日数 ()外国人

総入館者数 1,893,433人 (昭和34年3月12日～平成25年3月31日)

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特 別 展 等
1959(昭和34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繻の美展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	「きものの女王」神奈川県大会
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』

1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(昭和 64)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』
1993(平成 5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成 6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』
1995(平成 7)	特別展『～繡の美～「甦る足柄刺繡展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」－PART II－ ～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成 8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』
1997(平成 9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』

1998(平成 10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承ー江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」ー綴織に心を込めてー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木ーコレクション「古渡り更紗と名物裂展」』

2010(平成22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第21回全国染織作品展』
2011(平成23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶暦程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」』
2012(平成24)	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第22回全国染織作品展』
2013(平成25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禅」』

シルク博物館平成24年度年報

平成25年11月7日発行

編集・発行 シルク博物館

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町1番地

TEL 045-641-0841